



「おひさまきらきら えがおいっぱいなんざんようちえん」

南山幼稚園だより

7月号

成27年6月30日

港区立南山幼稚園

子供たちの成長

6月26日(金)には、六本木中学校、麻布幼稚園・小学校、東町小学校、南山小学校の先生方に南山幼稚園に集まっていたいただき、「六本木アカデミー」の研究会を行いました。保護者の皆様には、登園と降園の時刻の変更にご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで、多くの先生方に、日常の保育を見ていただくことができました。

当日は、外遊びを予定していましたが、雨が降り出してしまい室内遊びとなりました。

りんご組は、「雨が降ってきた。さあ大変。」と傘作りを始めました。傘の形の紙に、思い思いにクレヨンで模様を描いて、紙を巻いて作った棒を付けました。かわいい傘の出来上がりです。どの子も、自分で作った傘は自慢の傘です。嬉しそうに差して、部屋を歩き回っていました。

誰かが言った「チャポン」「チャップ チャップ」という言葉の響きが楽しさを誘ったのでしょう。言葉で雨を表現しながら遊び始めました。一人一人がそれぞれに遊んでいる中で、友達のしていることを見て、面白いな、楽しいな、心地よいなと思うことに触れると、その真似をしながら、その子にとって新たな遊びが始まっていくのです。

ばら組は、色水を作って遊びました。最初は、「わあー、こんな色ができた。」と、クレープ紙を水に浸けることによって出てきた色に驚いていました。そのうちに、色からイメージが広がり、「この色、オレンジジュースだ。」といった声があがりました。そして、「ジュース屋さん、やろうね。」と色水をペットボトルや牛乳パックに入れ、ジュース屋さんが始まりました。ばら組の子供たちは、イメージを広げ、友達と一緒に目的をもって遊び出しました。

さて、さくら組は、シャボン玉遊びをしました。削った石けんを水に溶かして、シャボン玉の液から作りました。「石けんを入れるとトロトロになっちゃった。」「もっと水を入れれば、シャバシャバになるよ。」と、ちょうどよい濃さの液を作ろうと、考え教え合う姿が見られました。そして、ストローやラップの芯を使ってシャボン玉を作ろうとするのですが、なかなかシャボン玉が膨らんできません。何度か繰り返しているうちに、強く息を吐き出すと、ストローやラップの芯の先のシャボン玉液が膨らむ前に壊れてしまうことを発見。そこで、ちょっと弱めてみたり、そっと吹いてみたりしながら、根気よく挑戦し続けていました。

幼稚園の保育を初めて参観した小学校のある先生は、3歳児、4歳児、5歳児のそれぞれの「育ち」の違いに驚いていました。そして、幼児期の子供の「育ち」に興味をもって、大変関心を示しているようでした。

私たち幼稚園の教師にとって、遊びの一つ一つが、子供たちが成長していくための貴重な体験となるように、子供たちに寄り添ったきめ細やかな保育を展開していくことの大切さを改めて考える機会となりました。

園長 和田 京子



7月のねらい

◎3歳児 りんご組

○いろいろな水遊びやプール遊びを楽しみながら、水に親しむ。

遊具や廃材などを使って、水をためたり、流したりするおもしろさや、水に触れる心地よさを感じ、遊びを楽しめるようにします。プールでは、水しぶきをあげながら元気に身体を動かして遊びます。

○着替えや身の回りの支度を自分で行おうとする。

プール前と後の着替えのやり方や手順を知り、自分で行おうとするように、またできたことが自信につながるように声をかけ、援助をしていきます。

◎4歳児 ばら組

○シャボン玉や色水、船作りなど、夏ならではの遊びを楽しむ。

新しい遊びに喜んで取り組み、自分の思いを表しながら、繰り返し楽しんでいけるようにします。さらに、友達と関わったり、友達の動きを取り入れたりしながら、遊びが豊かになるようにしていきます。

○プールで、先生や友達とさまざまな動きをして遊ぶことを楽しむ。

動物や魚になって動いたり、ダンスをしたりするなど、水の中でもできるいろいろな遊びをしながら、水に慣れ、心地よさを感じながらプール遊びを楽しんでいきます。

◎5歳児 さくら組

○遊びや生活の中で、友達と同じ目的やイメージに向かって、考えや思いを伝え合いながら進めていくことを楽しむ。

友達と遊びを進める中でイメージや、ルールなどを共通にしながらい進められるように、自分の考えや思いを伝えたり、相手の話を聞いたりできるようにします。また、当番活動の仕事を友達と分担し、グループの中で自分のやるべきことが分かって進めます。

○いろいろな水遊びを通して、試したり挑戦したりすることを楽しむ。

シャボン玉作りや船作りなど、水を使った遊びの中で、目的に向かって、繰り返し試したり、工夫したりすることを楽しめるようにしていきます。また、プール遊びでは、やってみようという気持ちで、様々な動きに挑戦する姿を大切にしていきます。



南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて

「整理・整とんをしよう」